



MBニュース



【2018年中国産さくらんぼ産地情報②】

丸松物産株式会社

6月号の報告で、主産地の山東省では、収穫前の4～5月に凍害の影響で原料が減産すると報告しておりましたが、生産も終わった最終報告では、約50%減産するとの報告がありました。また、収穫した果実は変形や傷など不良果が多く、歩留りも非常に悪いようで、全工場の生産目標も50%以下に留まっているとの事です。この為、今年のさくらんぼは値上げが避けられない状況です。

【2018年孟宗筍産地情報②】

5月号にて等内品・規格小の孟宗筍の入荷がほとんどない状態で終了したことを報告致しましたが、中国の中間業者からの報告では、日本に輸出する一部の業者では、1号缶規格小(SSサイズ16本以上)以下の原料の確保が難しいとの事で、Sサイズ1号缶(10～15本入り)の原料の確保に奔走しているとの事です。今後日本市場における規格小(SSサイズ)以下の販売価格は大きく変動するものと予測されます。

今年の規格小原料が少なくなった原因は、3月下旬から4月中旬にかけて高温と降雨量が少なかった天候被害の影響もありましたが、中国では原料を重量で取り引きする為、現地の農家では近年規格小の収穫を避け、収穫量で利益が確保できる為、大きく成長させた原料を収穫している事も規格小原料の減産に繋がっております。

【中国人は何にお金を使っている？上半期における消費統計発表】

上半期、中国の人々は何にお金を使ったのだろうか？全国の統計を見ると、支出の割合トップ3は、「食品・タバコ・お酒」、「住宅」、「交通・通信」だった。現在、人々の消費はダウングレードしており、安価な商品が手に入るEコマースが流行しているという声もあるが、それは偏った見方だといえるだろう。統計によると、上半期において消費高度化した類の商品が急速に成長し、サービス消費の高度化もより顕著になっている。

国家統計局住戸調査弁公室の王有捐室長によると、上半期においてスポーツ、健康、旅行などのサービス消費が力強く成長した。例えば、中国全国の国民のスポーツ・健康な体作りへの一人当たりの支出は39.3%増、医療サービスへの支出は24.6%増、ホテルなどの宿泊への支出が37.8%増、交通費が22.8%増だった。

また、個人のケア、教育・研修などへの支出も多くなっており、中国全国の国民の化粧品や成人教育、就学前教育などへの一人当たりの消費支出も二桁以上の成長となった。

中国商務部(省)研究院国際市場研究所の白明・副所長は取材に対して、「所得は消費の高度化の基礎で国民の所得は安定して増加し、消費能力が向上している。消費環境も継続的に改善されているため、消費が継続的に高度化している」と分析する。

「人民網日本語版」2018年8月7日より一部抜粋

【お勧め商品情報】

	商品名	国産切り干し大根彩りサラダ	大根とサーモンのマリネサラダ
	商品説明	切り干し大根のシャキシャキ食感とゆずの風味とあっさり塩味のサラダに仕上げました。	
	主要原材料	切り干し大根(国産)、こんぶにんじん、ゆず皮	大根と蒸し鶏の和風サラダ
	賞味期限	製造日より5ヶ月	
	使用上の注意	保存料は使用しておりませんので開封後はお早めにお召し上がり下さい。	

クックパッド・丸松物産キッチンへGO



自社製品のアレンジメニューを「クックパッド 丸松物産」で検索していただくとご覧いただけます。